

入選

私たちにできること

「水って何処から来ているんだろう？」

私はこんな疑問を持った。普段当たり前のよう
使っている水だが、知っているようで実は知らない
人も多いのではないだろうか。そこで、私は水が何
処から私達の元へ来ているのか調べてみることにし
た。

まず、私たちが生活で使う水の源は空から降って
くる雨水なのだ。その空から降る雨水は川となりダ
ムに貯められる。そこから取水場という場所でダム
の水をくみ取り水路を通過して浄水場へ運ばれる。浄
水場へ運ばれた水は浄水処理が行われ、安心安全に
飲む水道水が作られる。浄水場できれいになっ
た水道水は、配水場という場所で一時的に貯められ
る。そこから各家庭の蛇口につながる給水管へ運ば
れ、私たちの元へと届いている。

さらに、私たちが使用した水、生活排水は、下水
処理施設で、泥などの汚れを取りのぞいた後に消毒
などの様々な手間をかけて海へと戻される。その海
の水はやがて大気中へ蒸発し、雲となりその雲がま
た雨を降らせる。というループとなっている。

このように、水が私たちの元に届くまでには、様
々な手間がかかっているのだ。さらに、安心して飲
める水が水道から出てくるのは、全世界百九十六ヶ
国のうち十五ヶ国とごく少ないのだ。私たちにと
っては生きるための水だが、世界をみわたすと水を
飲むことで亡くなってしまう人々もいるのだ。

このような様々な事実を知って、蛇口をひねって
水が出てくるのは、当たり前なことではないんだな
と実感した。

そこで私は、自分にも何かできることはないだろ

矢吹町立矢吹中学校

三年

吉田

真彩

うかと考えた所、思いついたのは、水を節約して使ったり、水をきれいに使うことだ。

安心して水が使える。そんな日本だが、水にかかわる問題は、やはりいくつかある。その問題とは、川を流れる水量の減少や、濁水の頻発による水の循環にかかわる問題だ。このような問題の背景には、私たちの生活や産業による水の利用の増加や地球温暖化による気候の変化や人口の減少や高齢化により正しい森林のかんりができなくなっているなどの人口的な問題により、日本の水が汚れてきてしまっている。

このような問題を解決するため、水を出したらとめる。使わない時はとめる。必要以上に、水を出さない。トイレを流す時は、大・小の使い分けをすすめる。洗濯はお風呂の残り湯で行う。かみの毛を洗っている時は水をとめる。食器・フライパンを洗う時は油汚れをふきとってから洗う。食べ残しなど小さなゴミは、生ゴミへ。米のとぎ汁は、植物の水やりなど、かんたんな事でも、水を節約するために、きれいに使うためにできることは、こんなにも

たくさんあるのだ。

さらには、地球温暖化を防ぎ、森林を守るために私達にできることは、エアコンの設定温度は低めにする。使わない電化製品のコンセントは抜いておき、電源も切る。誰もいない部屋の電気は消しておく。テレビはつけたままにしない。買い物に行く時は、マイバックを持参する。リサイクルを積極的にする。冷蔵庫は、開閉を少なくし、物をつめこみすぎない。近くに行く時は、徒歩や、自転車。詰めた商品を買う。植物を育て、みどりを増やすなど、たくさんあるのだ。

このように、水がどのように私たちの元に届いているのかを知り、水を大切にしている人が増えたらいいなと思った。